

紙 Cinderella Talk

2026

紙のまちに恋して

紙ンデレラ

それは、「日本一の紙のまち」四国中央市の紙関連企業で活躍する女性たちのことです。今回は、3人の紙ンデレラに加え、これから紙ンデレラとしての一歩

を踏み出す大学生が、それぞれの視点から「紙のまち」で働くということの魅力や課題、そして未来への展望について語り合いました。

愛媛大学 社会共創学部 産業イノベーション学科 紙産業コース

井原瑞希さん

金生町下分生まれ
4月から市内包装資材製造会社に就職予定。
趣味はお菓子作り。

協和紙工株式会社 企画部 企画課

山本英里さん

中之庄町生まれ
紙加工販売会社で商品企画や営業などを担当。
趣味はドライブ。

シンワ株式会社 管理部 人事・総務課

山内理紗子さん

土居町津根生まれ
不織布製造会社で人事や採用活動などを担当。
趣味はアイドルの応援。

江南ラミネート株式会社 業務サポート部

片岡萌美さん

中曽根町生まれ
ラミネート加工会社で生産管理や出荷業務などを担当。
趣味は子どもと公園に行くこと。



CNFを素材に使用した名刺入れから、手渡し和紙製の名刺を取り出す井原さん

片岡・山内・山本 ようこそ！

なぜ紙ンデレラに？

山内 小学校の社会科見学やイベントを通じて地場産業の強みを知っていたので、就職するなら地元と決めていました。実は就職活動を始めるまで当社のことは知らなかったのですが、不織布という素材の可能性に魅力を感じて入社を決めました。

井原 私も工場見学や愛媛大学の出前授業などで紙の魅力を知り、将来は紙に関わる仕事に就きたいと思いました。その思いを実現するために、地域の企業や行政と協働し、地域経済の発展や社会課題の解決に向けた学びができる本学科に進学しました。

片岡 私は転職を通じて紙産業に携わるようになりました。文字通り「アットホームな会社」を探していたところ、当社が目に残りました。当社では、製造過程で発生した損紙を活用して、子どもた



多彩な商品デザインが自社のデザイナーによるものだと知り、驚いたと話す山本さん

紙産業は女性が少ない？

山本 当社の主力商品が文具ということもあり、商品企画を担当する私の部署は全員女性です。仕事の悩みも相談しやすい雰囲気があります。

片岡 製造現場は男性が多いですが、私の部署は全員が女性です。子育て世代への理解がある職場なので、これまでに2度育児休暇を取得し、現在も時短勤務をさせてもらっています。



会社初の育児休暇取得者となった片岡さん。「後輩たちのロールモデルになりたい」と話す

井原 学科自体は男女比が同じですが、私が専攻する紙産業コースは同級生10人のうち7人が女性です。他のコースに比べると、女性に人気がある方だと思います。

山内 生産管理を担当していた時は、大半が女性でした。紙産業が女性にとって働きにくいと感じることはありませんが、採用担当になってから学生へのアピールの難しさを感じています。主力商品が不織布という素材であるため、製品と会社名が一体となって消費者の目に留まる企業や業種と比べると、学生に伝わりにくいのだと思います。

片岡 当社も素材の加工という、製品が完成するまでの中間工程を担当しているため、一般の方にはあまり知られていません。私も就職活動を通じて当社のことを知りました。

山内 これまでの採用活動は「企業と学生」という構図でしたが、今後は地域の企業が一体となって紙のまちで働くことの魅力をPRし、地域全体で人材を確保していく必要があると感じています。



このまちから紙を使った推し活グッズがたくさん生まれれば良いなと話す山内さん

片岡 休日は子どもと砂場で創作活動に励んでいます。ただ、意外と遊べる砂場が少ないのが悩みです。市報に掲載されていた「キッズプレイミュージアム（仮称）」に期待しています！

山本 私は車に興味なのですが、高速道路へのアクセスが良いので、休日はいろいろな場所に出掛けています。車に取りつかれると、もう都会には住めません（笑）。

井原 休日は家でお菓子を作っています。実は、好きな紙でラッピングしたいがために、お菓子作りが趣味になりました（笑）。私たちの世代は手紙文化があまりありませんが、ラッピングを通じて「推しの紙」を贈ることができます。

紙ンデレラの休日

山内 私も推しのライブのために各地へ遠征するのですが、このまちは電車も高速バスも利用でき、更には空港も選べるので、とても推し活のしやすいまちだと思います。

山本英里さん 当社では、ノートや折り紙などの文具を始め、さまざまな紙製品を製造しています。夏に東京ビッグサイトで開催された国際文具・紙製品展では、片岡さんの会社と共に当社も四国中央市の合同ブースに出展しました。私は、市場のニーズに基づいて新しい商品を企画し、取引先へ提案する商品企画を担当しています。

山内理紗子さん 当社では、マスクやウェットティッシュなどに使用される不織布を製造しています。昨年の夏からは社員の採用や福利厚生を担当していますが、それ以前は私も生産管理を担当していました。ちなみに当社の不織布も片岡さんの会社でラミネート加工をしていたいただいています。

片岡萌美さん 当社では、紙に複数の素材を貼り合わせて耐久性や防湿性などを高める「ラミネート加工」を行っています。私は取引先からの依頼を製造担当に伝え、納期を調整する生産管理業務や完成した製品の出荷業務を担当しています。

自社紹介と自己紹介

12時が来たので、今回はここまで。また次回お会いしましょう。